



個人投資家さま向け説明会

# ソフトバンクの事業と成長戦略

ソフトバンク株式会社  
2019年8月23日

# 本日のご説明

1. ソフトバンク株式会社概要
2. 事業内容の紹介
3. 新領域の拡大
4. 業績
5. 株主様への還元

# ソフトバンク株式会社の概要



# SoftBank

事業内容

移動／固定通信事業  
ICTソリューションの提供

代表取締役  
社長執行役員 兼 CEO

宮内 謙

売上高

4兆6,568億円\*  
(2018年度)

従業員数

37,466人  
(2019年6月末)

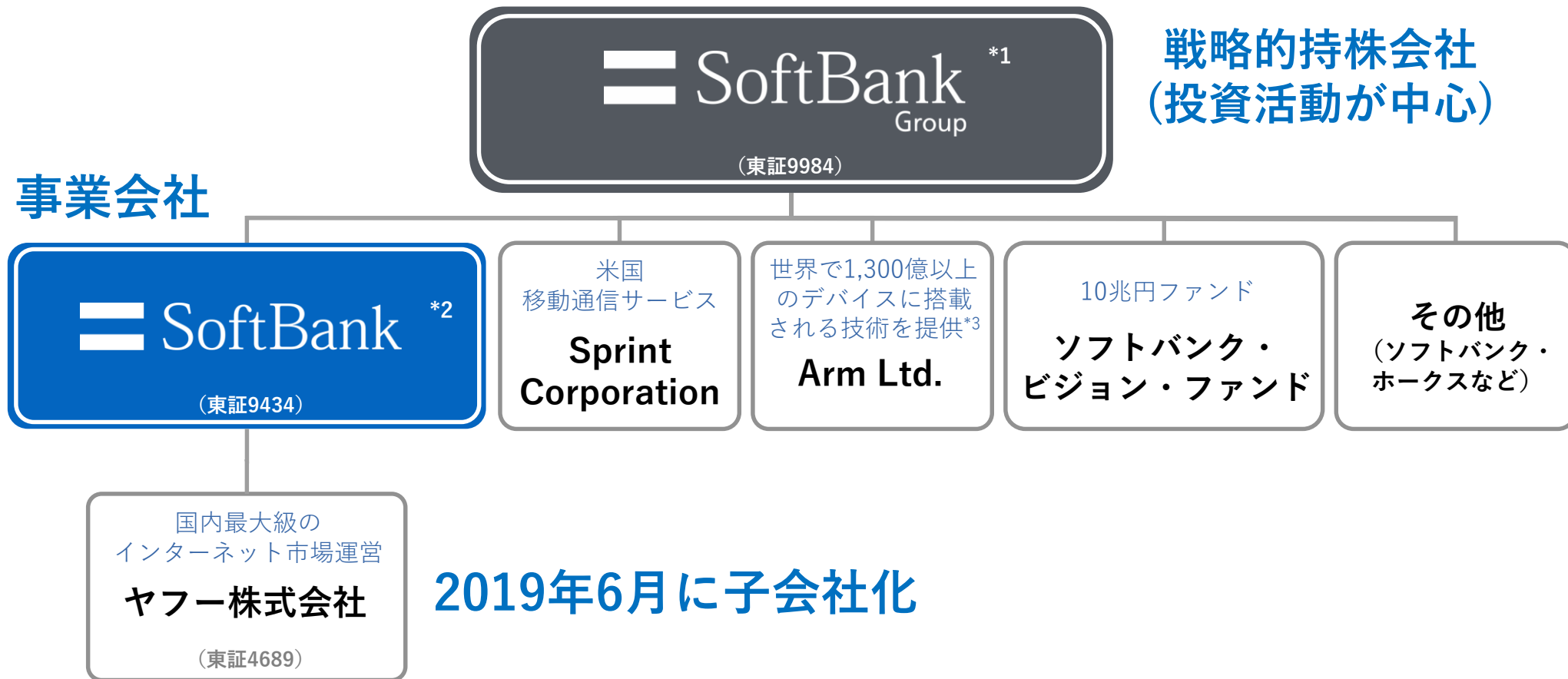
契約数

モバイル 4,477万件  
ブロードバンド 770万件  
(2019年6月末)

\* 2018年度実績（未監査）。2019年6月27日付でヤフー(株)を子会社化しており、当該取引は共通支配下の取引として、2018年4月1日より、ヤフーグループの財務諸表をソフトバンク(株)グループの要約四半期連結財務諸表の一部として遡及して連結しています。

# グループにおける位置付け

日本における中心的な事業会社として自律的・機動的経営を遂行



\*1 上記は簡易的なグループストラクチャーを示しており、各々の持分比率を省略しています。

\*2 ソフトバンク株式はソフトバンクグループ株式会社の完全子会社であるソフトバンクグループジャパン株式会社により直接保有されています。

\*3 当社調べ。

# 主戦場は常に変化



PC



インターネット



携帯電話



スマートフォン

# 時代をとらえて進化

PC流通事業  
開始



高速  
ブロードバンド



固定通信  
参入



移动通信  
参入



マルチブランド  
戦略

SoftBank

Y! mobile

LINE MOBILE

PC



インターネット



携帯電話



スマートフォン





# ソフトバンクの成長戦略

キャリアの先へ  
Beyond Carrier

新領域



AI・テクノロジー  
最先端ビジネスモデル

ヤフー



通信事業



スマホ契約数拡大



ブロードバンド契約数拡大



新たなインフラ



# 2019年度 連結業績予想

[億円]

	2018年度 通期実績	2019年度 通期予想	増減	増減率
売上高	46,568	48,000	+1,432	+3.1%
営業利益	8,182	8,900	+718	+8.8%
純利益	4,625	4,800	+175	+3.8%

(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

\* 2018年度実績（未監査）は、ヤフー(株)を連結子会社化した影響の遡及修正を実施

# 事業内容の紹介

# 4つの事業を展開



コンシューマ  
(個人のお客様)



法人



流通



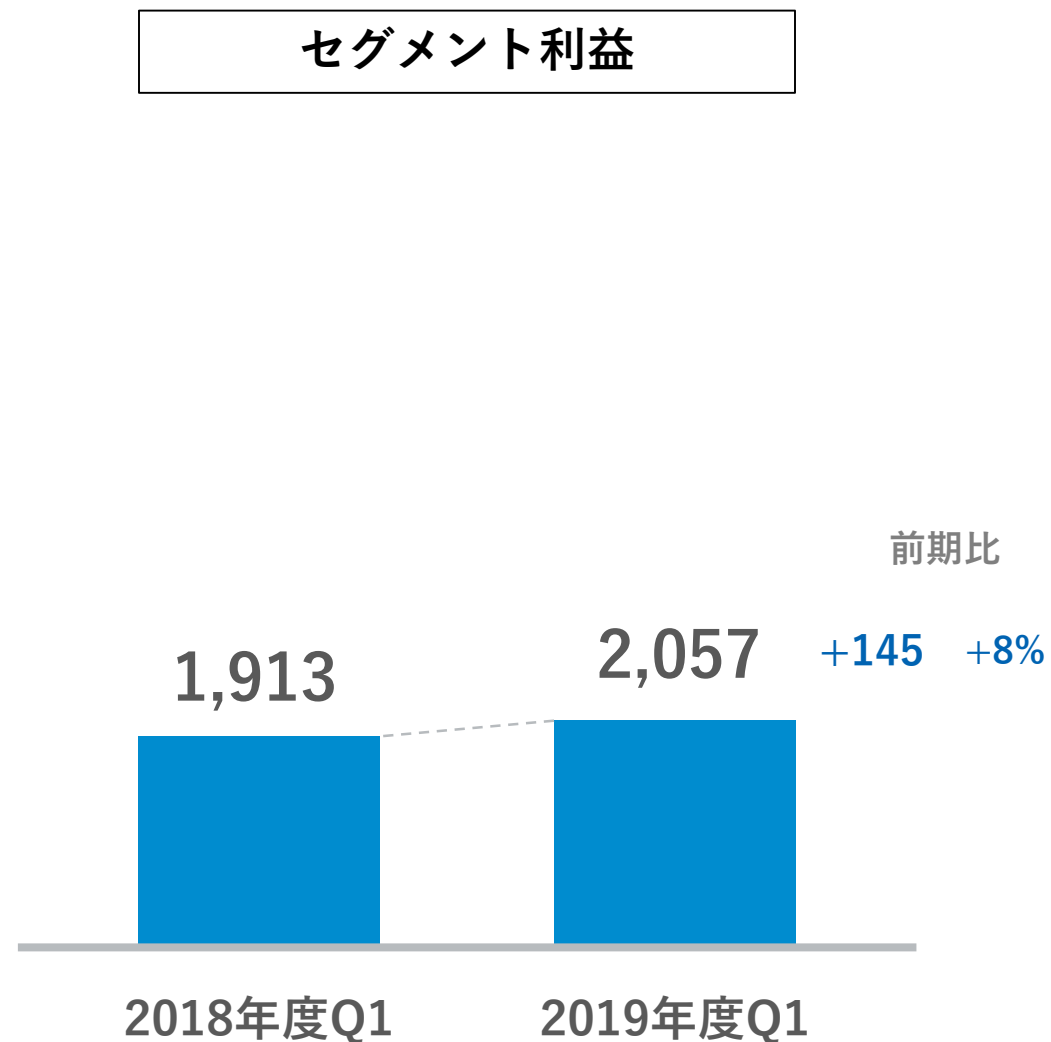
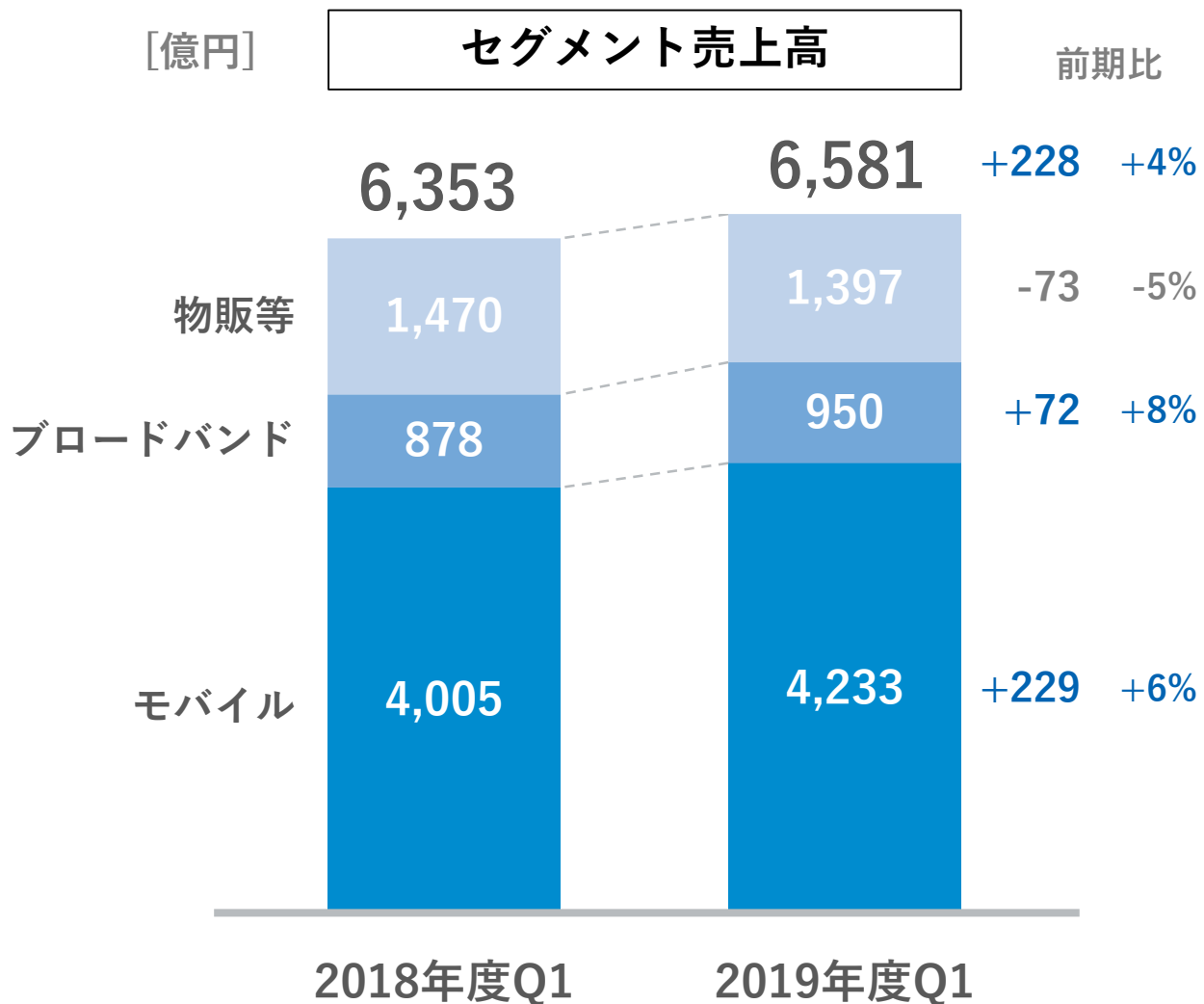
ヤフー

\* 2019年度Q1売上高 (ヤフー遡及後)

コンシューマ事業

# コンシューマ事業

売上高は前年同期比4%増、セグメント利益は同8%増。モバイル・ブロードバンドが大きく貢献。






# ターゲットに合わせたマルチブランド戦略

SoftBank

Y!mobile

LINE MOBILE

価格	 おトク感	 低価格	 低価格
データ量	 大容量	 中容量	 小容量
ターゲット層	<ul style="list-style-type: none"><li>• 大容量ユーザー (画像や動画も楽しめる方)</li><li>• ビジネスユーザー</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ライトユーザー (通話やメールを中心に ご利用される方)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 10代~20代前半の ユーザー</li></ul>
お客さまとの 接点	店舗中心	店舗中心	オンライン中心

## ウルトラギガモンスター<sup>+</sup>

端末分離対応済み

動画・SNS使い放題<sup>\*</sup>

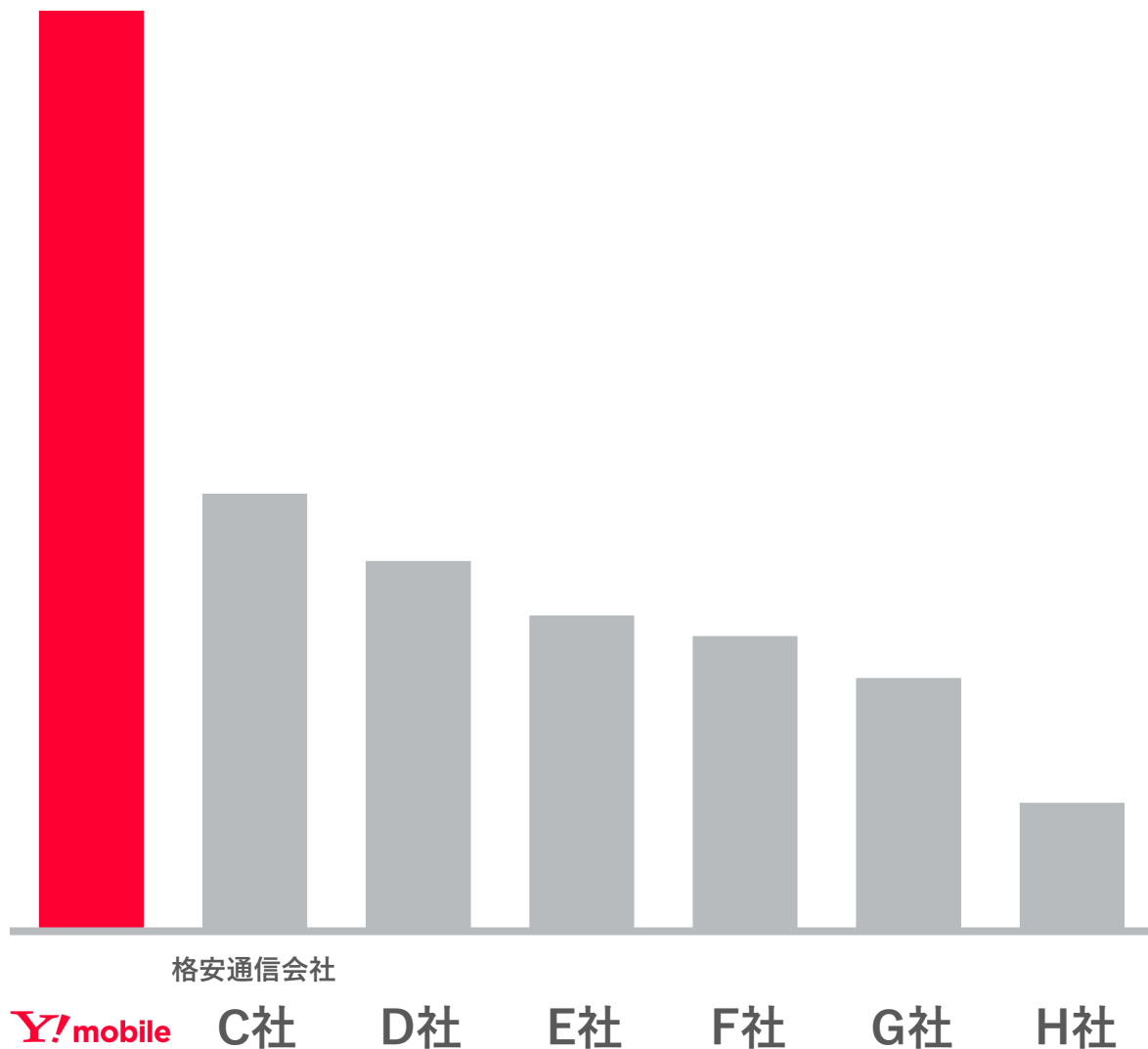


+ 大容量  
50ギガ

<sup>\*</sup> 対象サービス内の一部機能については、データ通信量を消費します。  
各サービスの利用料金は別途各社へお支払いください。



# 格安スマートフォン各社 累計契約数



格安スマートフォン  
市場<sup>\*</sup>で

No.1

(出所) 18年9月末時点。MM総研 12月リリース「国内MVNO市場規模の推移 (2018年9月末)」を元に当社作成

\* 他社数値は、NTTドコモ、au、ソフトバンクブランド及びMVNEを除く

# ワイモバイルの料金プラン



## スマホプランS

月々2GB→加入から2年間は**3GB**<sup>\*1</sup>

**1,480円**<sup>\*2</sup> /月～

## スマホプランM

月々6GB→加入から2年間は**9GB**<sup>\*1</sup>

**2,280円**<sup>\*2</sup> /月～

## スマホプランL

月々14GB→加入から2年間は**21GB**<sup>\*1</sup>

**3,980円**<sup>\*2</sup> /月～

\*1 データ増量無料キャンペーン適用の場合、データ増量オプションの月額料が加入翌月から24ヵ月無料となります。

新規、他社からののりかえ（MNP）、ソフトバンクからの番号移行、契約変更、機種変更のいずれかでスマホプランS/M/Lを契約の際に、オプションに加入されたお客さまが対象です。

\*2 別途固定通信サービス料がかかります。家族割引サービスと併用不可となります。

# LINEモバイルの料金プラン

LINE MOBILE

## LINEフリー

LINEアプリの通話・トークが使い放題

500円<sup>\*</sup>/月～

## コミュニケーションフリー

人気のSNS使い放題

1,110円<sup>\*</sup>/月～

## MUSIC+

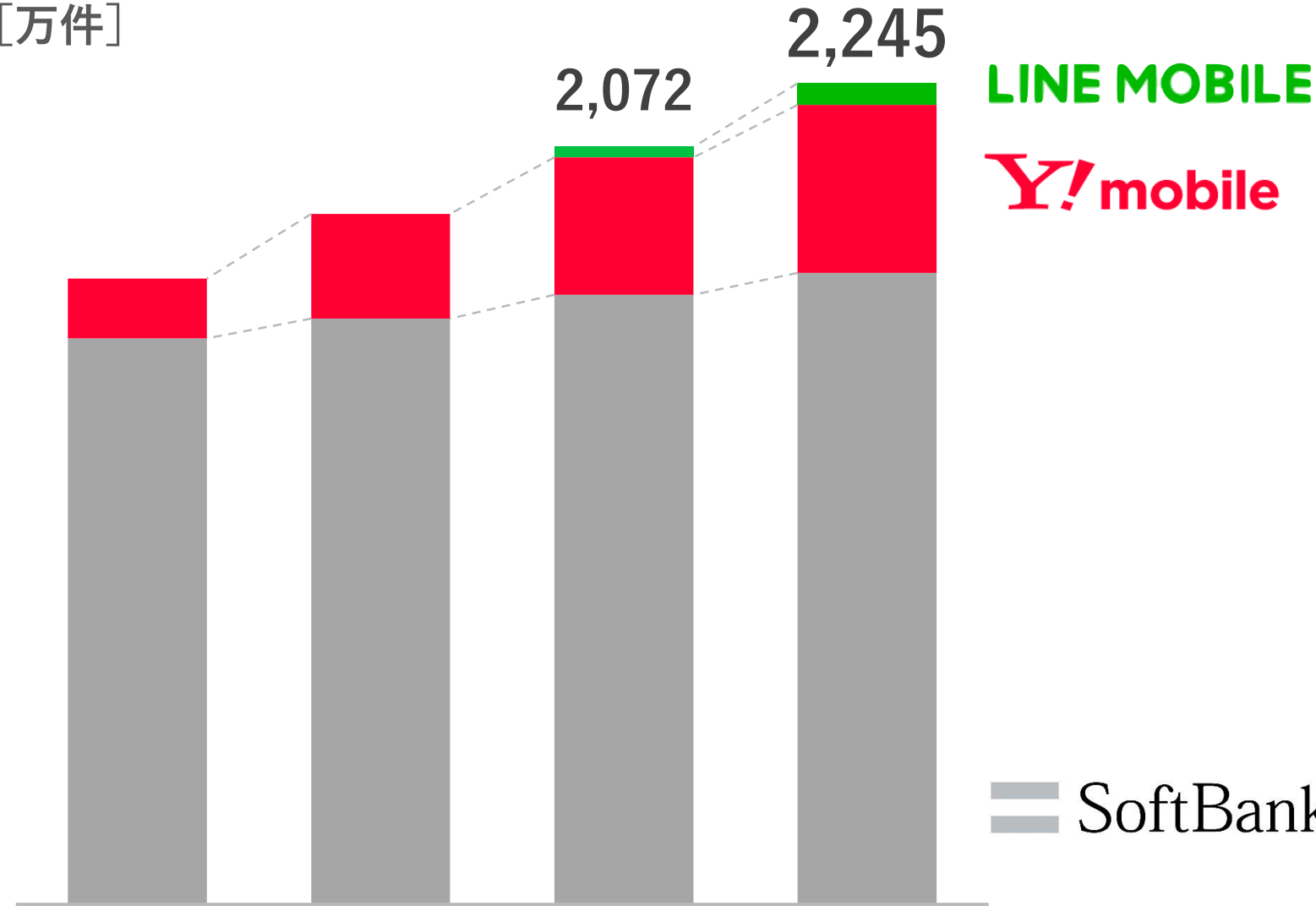
音楽聴き放題サービスをプラス

1,810円<sup>\*</sup>/月～

\* それぞれ月間データ容量が1GB、3GB、3GBの場合

# スマートフォン 累計契約数

[万件]



**8%増**  
(174万件増)

2016年度Q1 17年度Q1 18年度Q1 19年度Q1

\* 法人契約を含む

# 「スマホデビュープラン」



SoftBank

通話 + データコミコミ

基本料 **980**円/月 (12カ月)<sup>※1</sup>



5分以内の国内通話<sup>※2</sup>



データ容量 1GB

+

PayPayボーナス



新規登録からの1週間以内の銀行口座登録でPayPay残高<sup>※3</sup>

**1,000**円相当プレゼント!

スマホデビュープランご契約でPayPay残高<sup>※4</sup>

合計 **6,000**円相当プレゼント!

(毎月1,000円相当を6ヶ月間付与)

※1 翌月から。通話基本プラン（2年契約、中途解除料9,500円）・準定額オプション・ウェブ使用料・データ定額スマホデビュー・1年おトク割・スマホデビュー専用割引適用時。機種代金は含まず。おうち割 光セットなど、一部割引サービスは併用不可。

※2 ナビダイヤル（0570から始まる番号）など対象外となる電話番号があります。

※3 付与されるPayPay残高は、PayPayボーナスとなります。

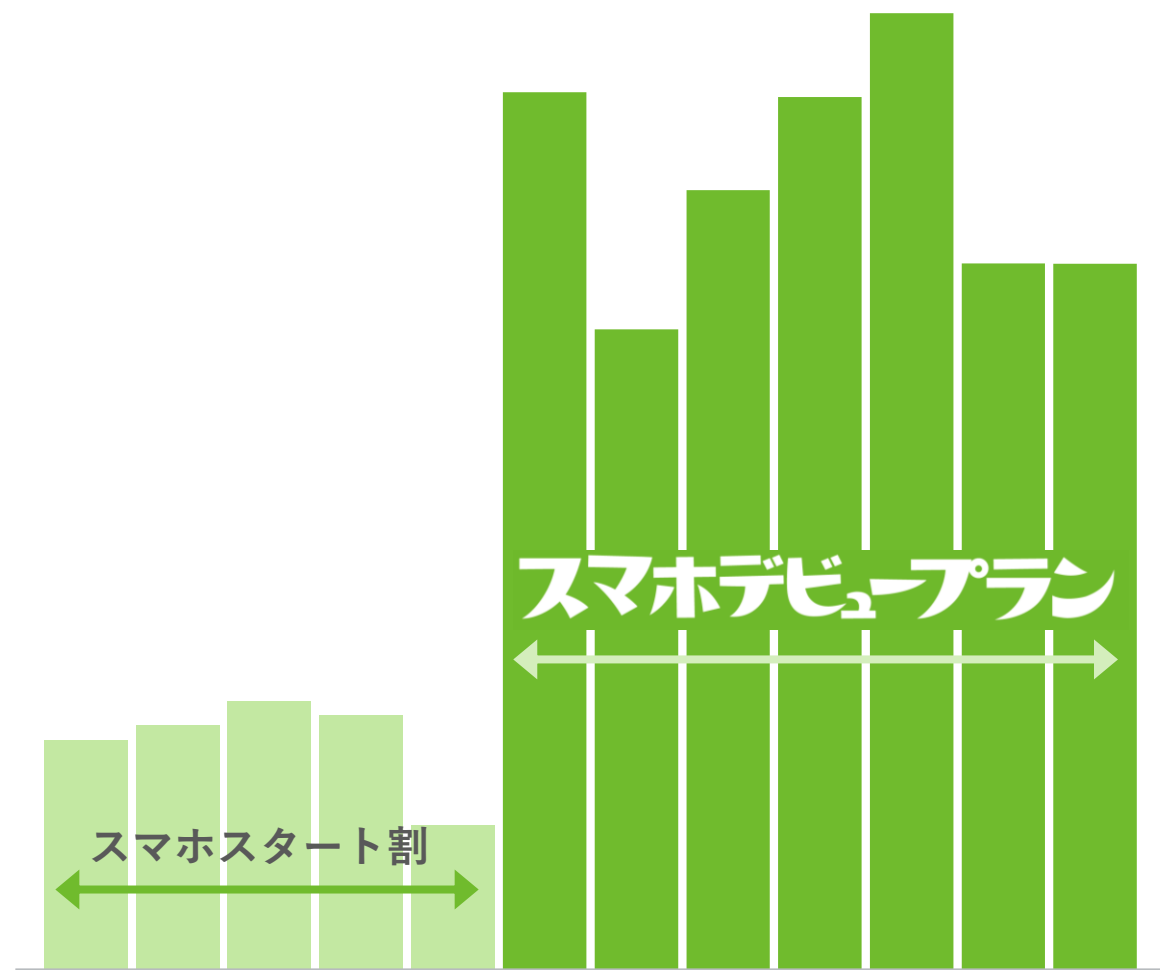
※4 PayPayボーナスの進呈は、1,000円相当を6ヶ月間。2019年10月より付与開始。

# 「スマホデビュープラン」加入数

SoftBank

## 旧プラン対比

# 3倍以上の加入数



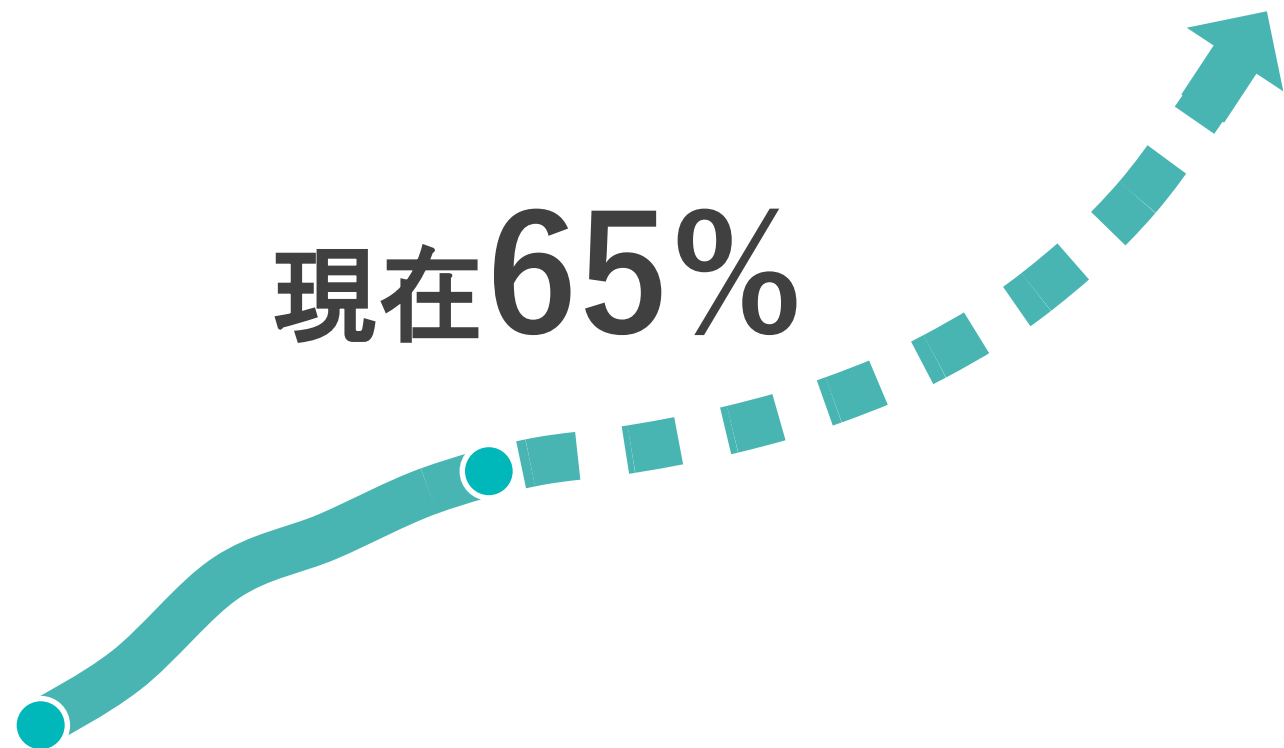
2019年  
5月2週

2019年  
7月4週



(定義) 2019年5月8日～6月11日：ケータイからスマートフォンへ機種変更  
またはのりかえ(MNP)で「スマホスタート割」をご利用いただいた件数  
2019年6月12日～7月30日：ケータイからスマートフォンへ機種変更  
またはのりかえ(MNP)で「スマホデビュープラン」にご加入いただいた件数

# 日本市場の個人スマートフォン比率



スマートフォンは  
今後も

さらに拡大

2013

2018

(定義) 総人口に対する個人のスマートフォンの保有比率。  
2018年12月時点。総務省「通信利用動向調査」に基づく





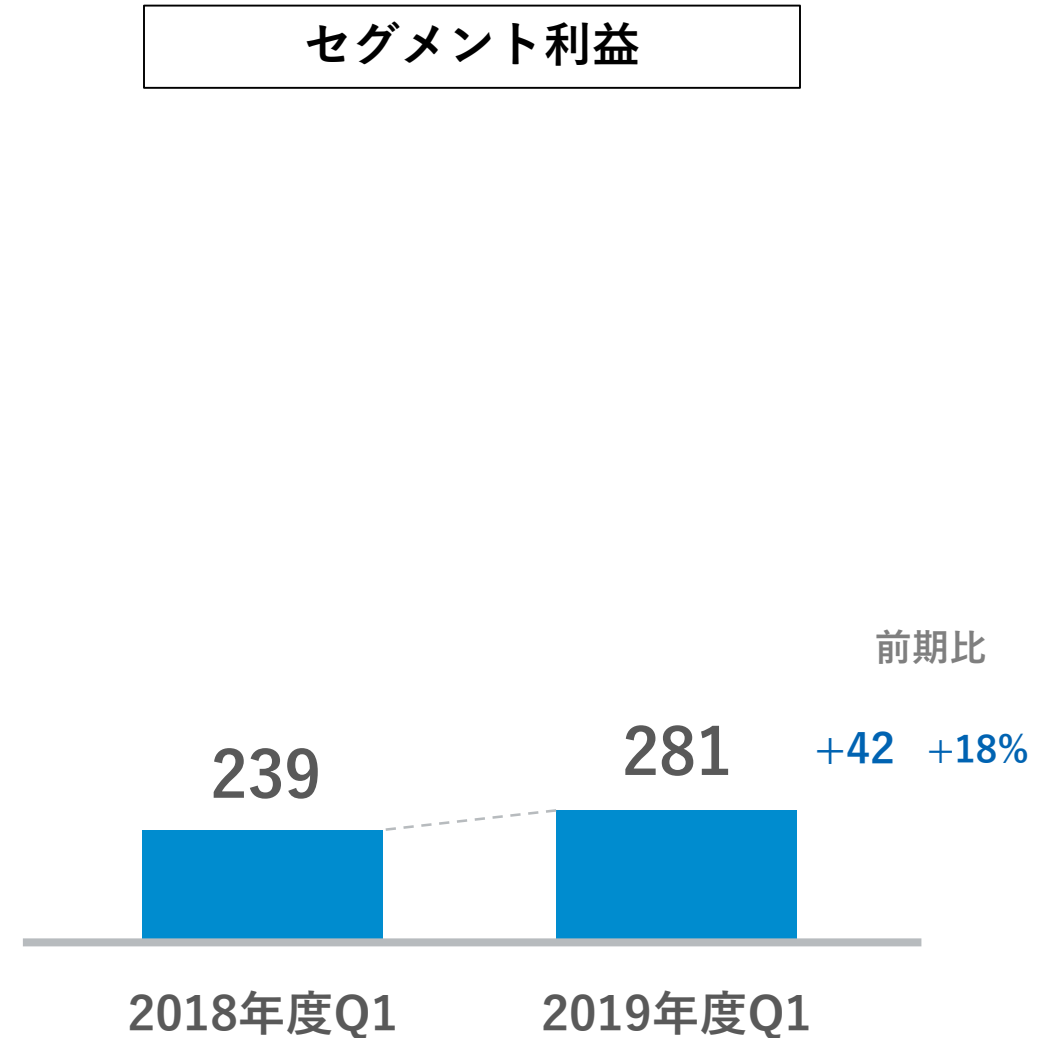
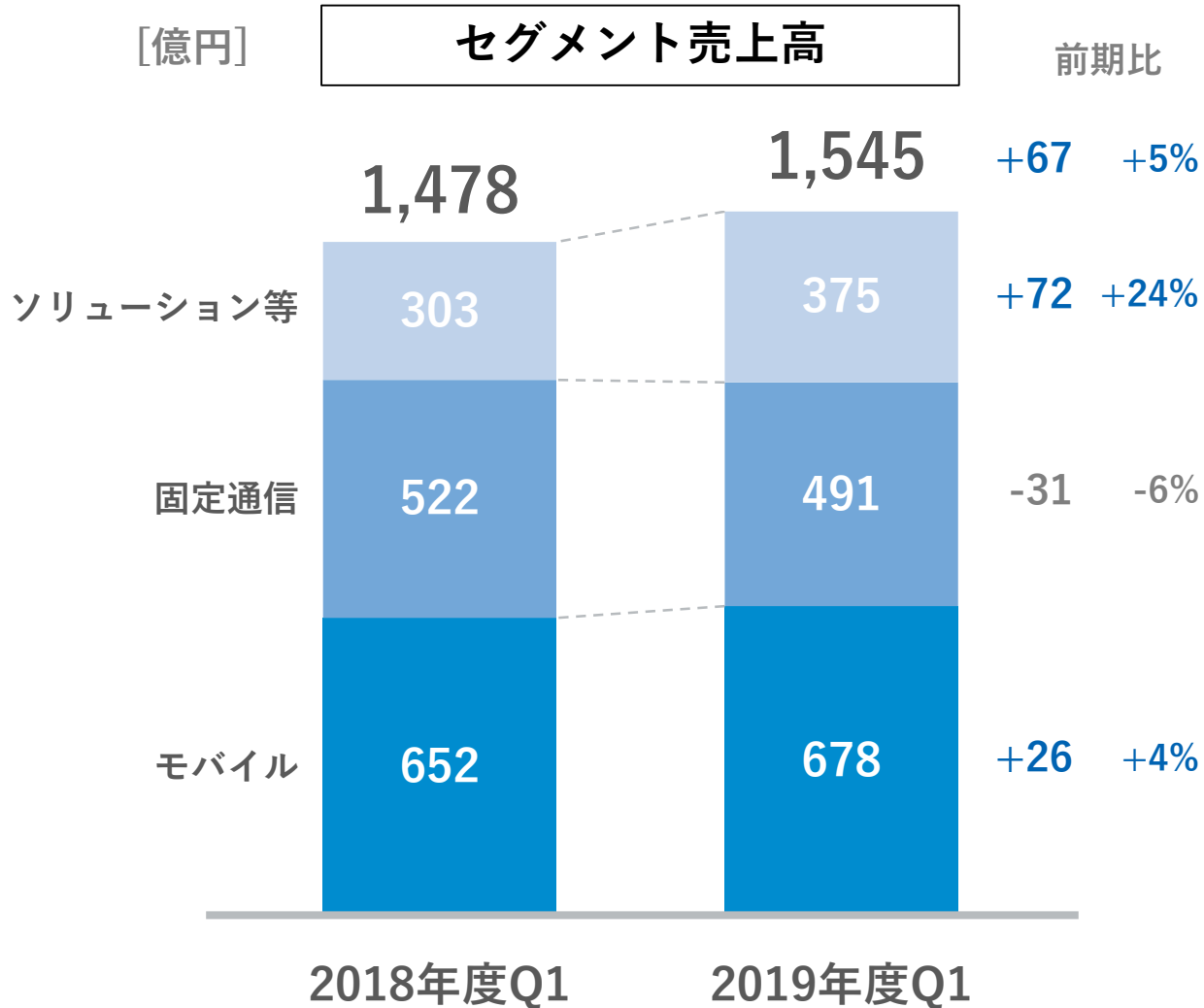
# 1億総スマホ時代へ



# 法人事業

# 法人事業

売上高は前年同期比5%増、セグメント利益は同18%増。ソリューション等が伸びをけん引。





# 法人事業の3つの領域

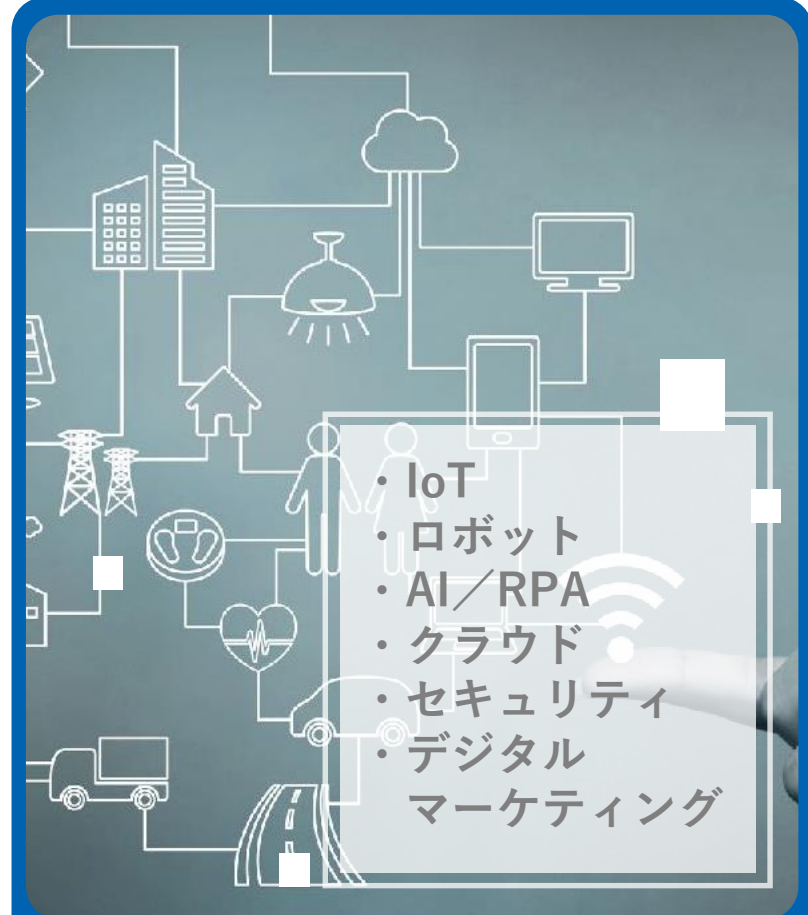


モバイル



- ・固定電話
- ・ネットワーク

固定通信

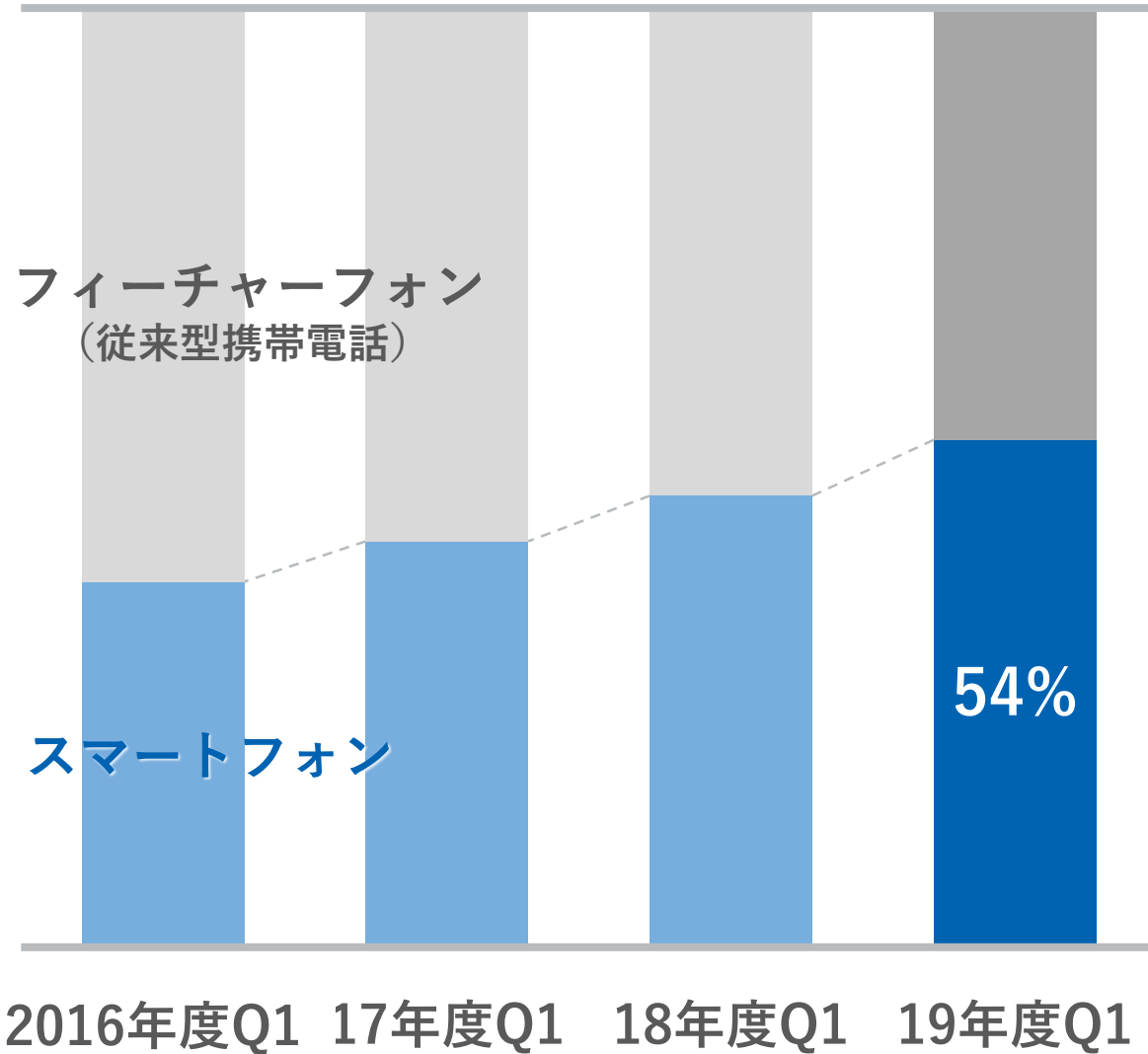


- ・IoT
- ・ロボット
- ・AI/RPA
- ・クラウド
- ・セキュリティ
- ・デジタルマーケティング

ソリューション等

# 法人契約 スマートフォン比率

[%]



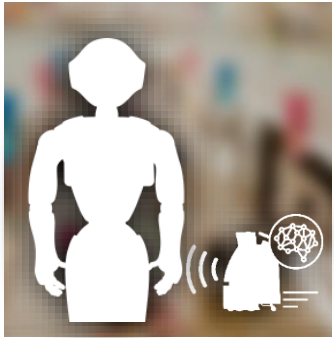
## 法人のスマホ利用 着実に浸透



\*「ソフトバンク」および「ワイモバイル」ブランドのハンドセットの法人契約数に占めるスマートフォン回線数の割合

# 成長領域である 様々なソリューションを提供可能

## ロボット



pepper  
for Biz

AI 清掃PRO  
brain powered

## AI・RPA



IBM Watson

FINDABILITY  
SCIENCES

SynchRoid

AUTOMATION  
ANYWHERE  
Go be great.

## セキュリティ



cybereason

ZIMPERIUM  
MOBILE THREAT DEFENSE

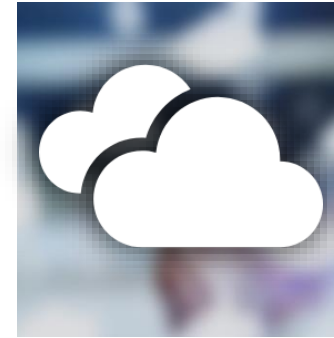
## デジタル マーケティング



arm  
TREASURE DATA

cinarra

## クラウド



SB Cloud

ASPIRE

slack

## IoT



SoftBank  
IoT Platform

スマカギ

BLUU  
SMART PARKING

準天頂衛星対応  
トラッキングサービス

== SoftBank *5G*



# 2019年度 5Gサービス開始

早期に人口カバレッジ90%以上を目指す

大容量

多接続

高速化

低遅延

# 5Gが実現する世界



仮想現実・拡張現実



ドローン活用



自動運転



商品管理(IoT)

# 5Gにおける優位性

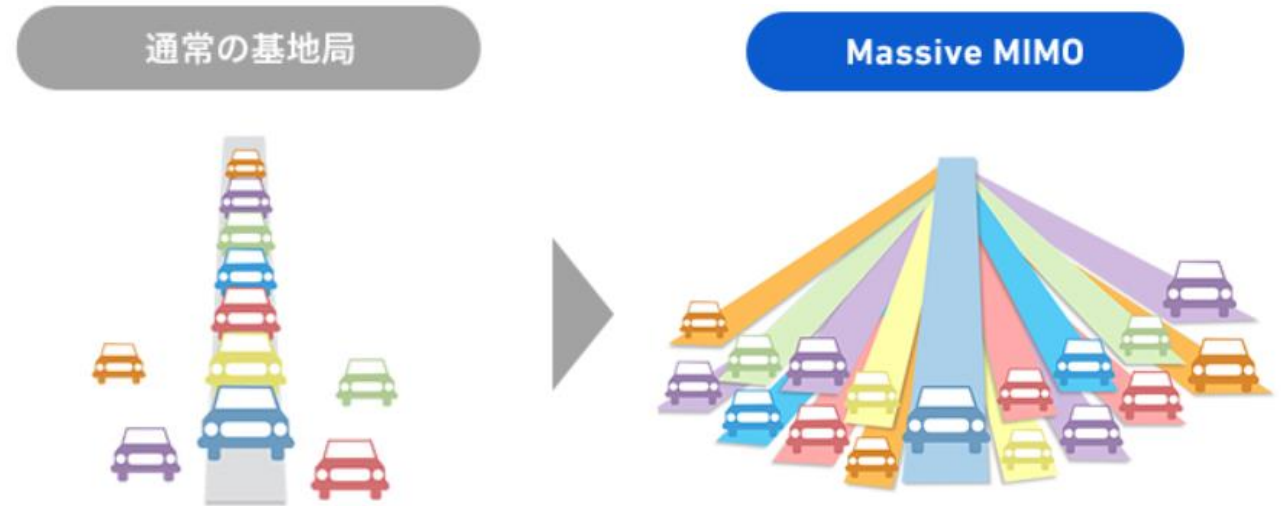
## 高密度な基地局網



5Gではより狭間隔の  
基地局が必要なため優位

## Massive MIMO<sup>\*2</sup>

ソフトバンクが  
世界初<sup>\*3</sup>  
商用展開



早期のノウハウ蓄積により効率的な基地局建設が可能に

\*1 2018年8月時点の数値です。

\*2 従来とは大きく異なり、1基地局あたり最大128本のアンテナにより高度なビームフォーミングや空間多重などの技術を実現し、ひとりひとりに専用の電波を割り当てることで駅や繁華街などの人が多く集まる場所でも快適なモバイル通信を実現する技術となります。

\*3 当社調べ。

ヤフー事業

**YAHOO!**  
JAPAN

**連結子会社化**





# ヤフー事業の2つの領域



- ・ 「ヤフオク!」 「Yahoo!ショッピング」
- ・ 決済関連サービス

コマース



- ・ 「Yahoo! JAPAN」 「Yahoo!ニュース」
- ・ 広告関連サービス

メディア

# ソフトバンク × ヤフーで描く世界

他社には真似できない未来を創る

金融

観光

不動産

医療

交通

宿泊

ビッグデータ

**YAHOO!**  
JAPAN

< 広告/eコマース >

通信

SoftBank **5G**

< スマホ/ネットワーク >

AI企業群

ソフトバンクグループ  
の投資先

< 最先端テクノロジー >



# 新領域の拡大

# ソフトバンクの成長戦略

キャリアの先へ  
Beyond Carrier

新領域



AI・テクノロジー  
最先端ビジネスモデル

ヤフー



通信事業



スマホ契約数拡大



ブロードバンド契約数拡大



新たなインフラ

# 国内外の企業とさまざまな分野で連携を加速

## ソフトバンク・ビジョン・ファンドの投資先との連携

## その他の連携

we

JV

DiDi

JV

MONET  
MONET TECHNOLOGIES INC.

JV

cybereason

JV

HAPS MOBILE

JV

OYO

JV

COHESITY

JV

J.Score

JV

FINDABILITY  
SCIENCES

JV

SB Cloud

JV

Paytm

連携

arm  
TREASURE DATA

連携

ENCORED

JV

One Tap BUY

投資

ZIMPERIUM  
MOBILE THREAT DEFENSE

投資

mapbox

連携

brain@  
corp

連携

AUTOMATION  
ANYWHERE  
Go be great.

連携

TBCA  
Soft

投資

SoftBank  
Robotics

連携

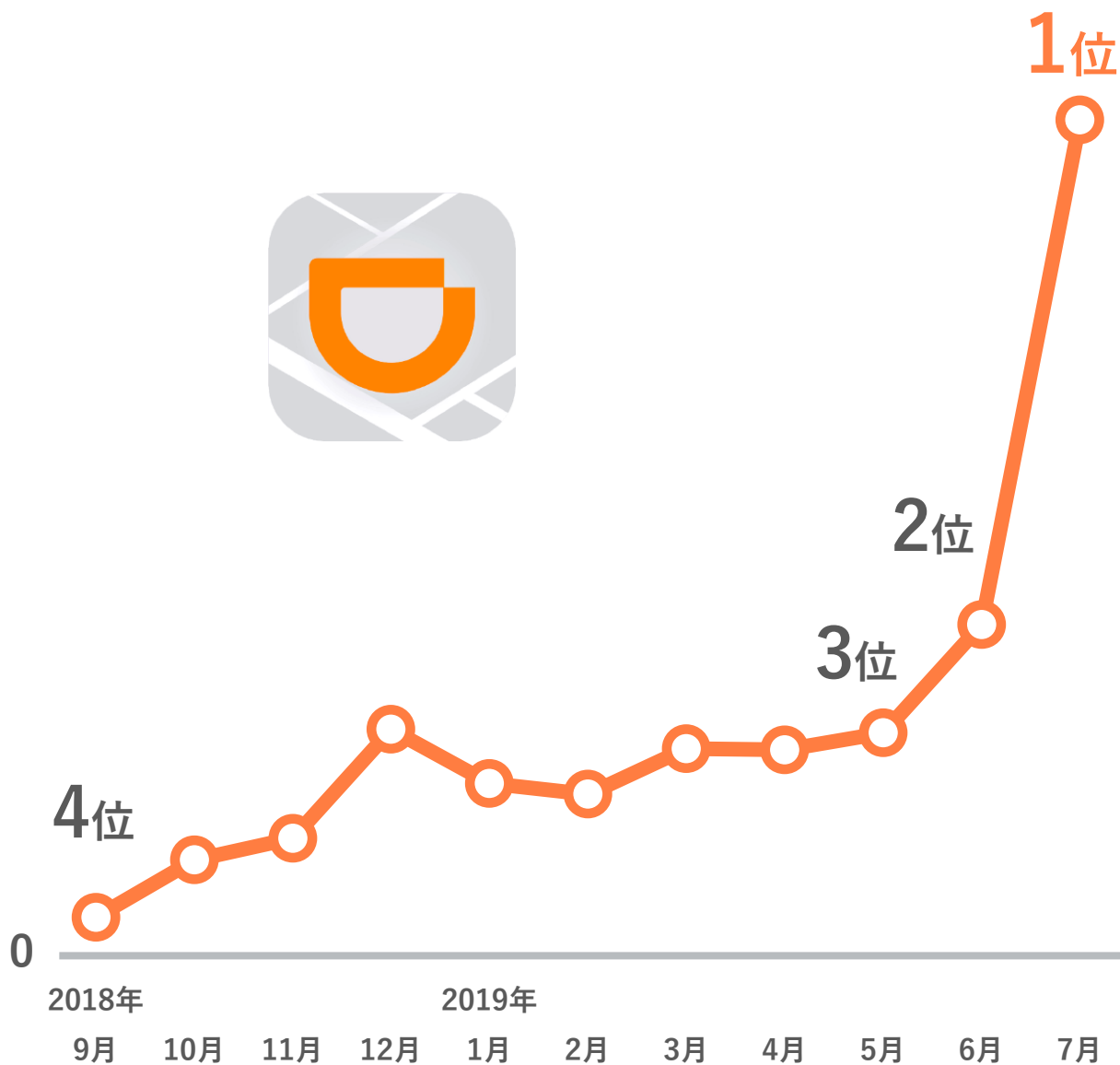
BostonDynamics

連携



# AIタクシー配車プラットフォーム 「DiDi」

# 「DiDi」月間アプリダウンロード数



サービス開始10か月で  
タクシー配車アプリ  
ダウンロード数

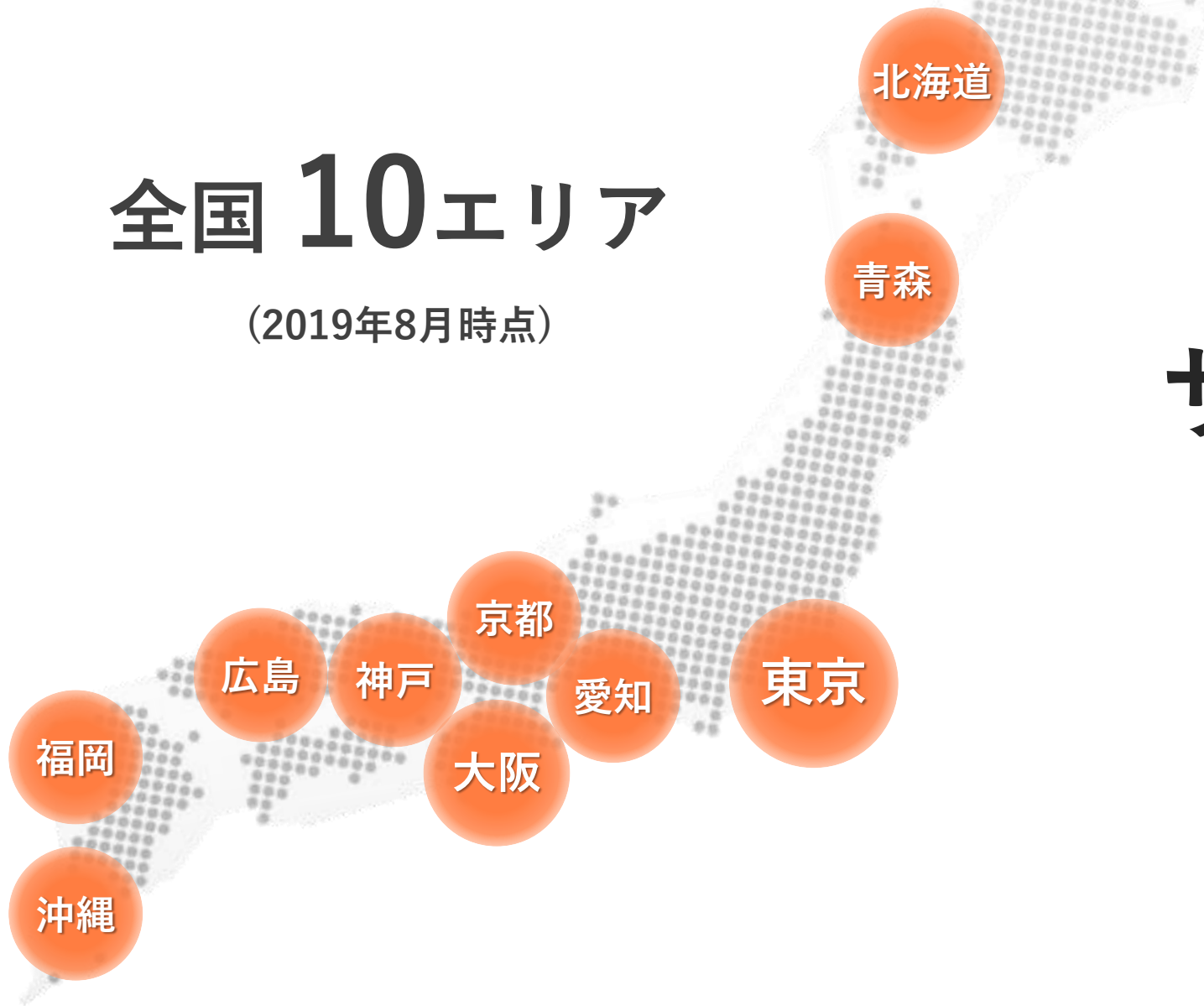
**No.1**

(出所) App Annie  
(定義)月間アプリダウンロード数(日本国内iOS・GooglePlay合計)  
集計期間：2018年9月1日～2019年7月31日

# 「DiDiモビリティジャパン」

全国 10エリア

(2019年8月時点)



サービスエリア  
急拡大





# スマホ決済サービス 「PayPay」

# 「PayPay」累計登録者数

[万人]

1,000

500

0

2018年10月

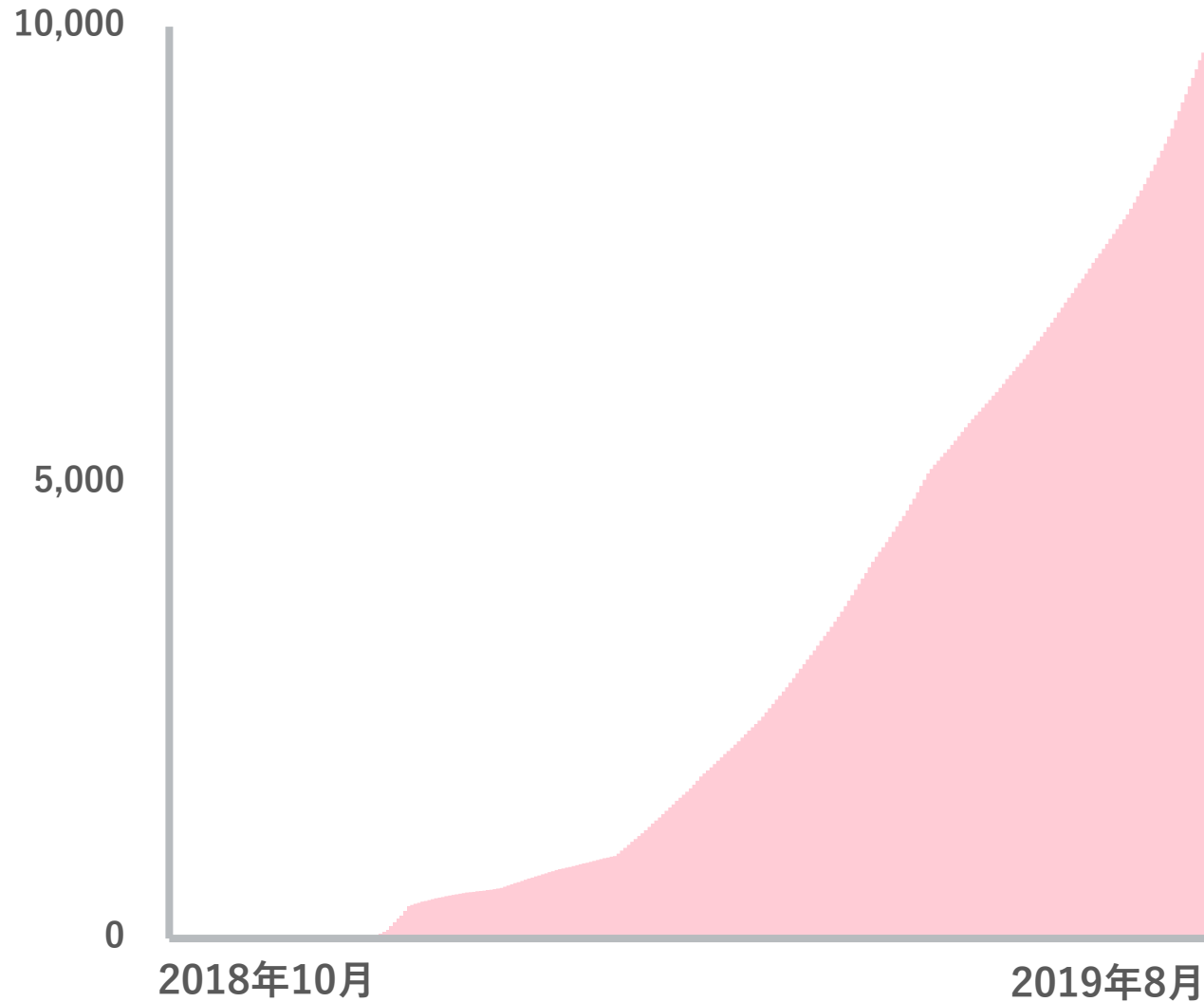
2019年8月

サービス開始10か月で  
**1,000万人**  
突破

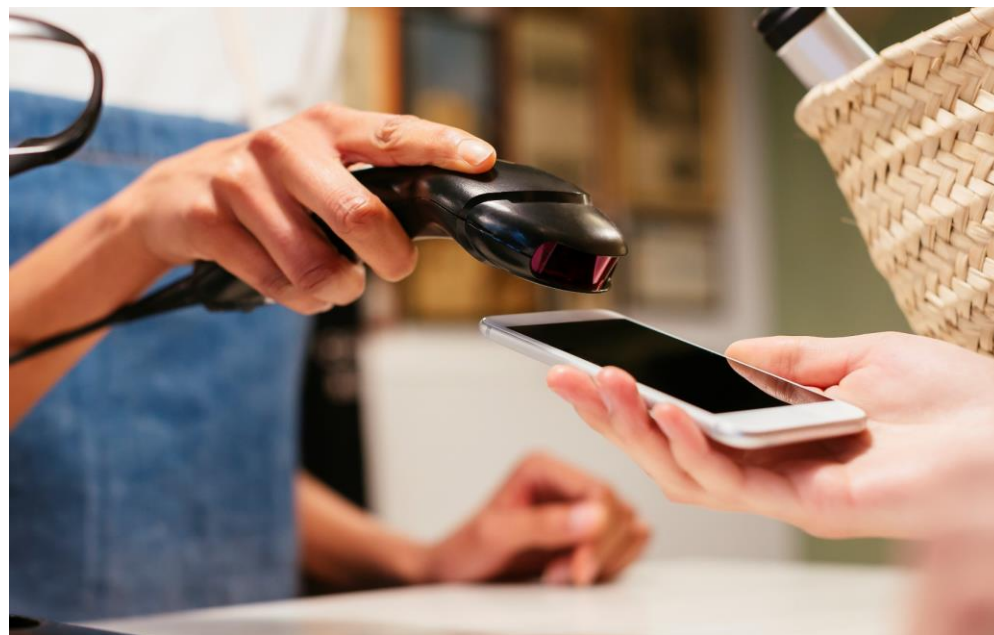


# 「PayPay」累計決済回数

[万回]



サービス開始10か月で  
**1億回突破**



(出所) PayPay(株)調べ、期間：2018年10月5日～2019年8月5日

# 「PayPay」キャンペーン



7月

飲食店や  
スーパーで

**最大20%**  
のPayPayボーナス

8月

コンビニ・  
飲食店・スーパーで

**最大20%**  
のPayPayボーナス

## 月替わり キャンペーンで 利用習慣定着へ

\* 対象加盟店でのキャンペーン開催期間中における「PayPay」による支払いで、支払額の最大10%相当の「PayPay」ボーナスを付与。「ソフトバンク」または「ワイモバイル」のスマートフォンユーザー、ならびに「Yahoo!プレミアム会員」の場合、支払額の最大20%相当の「PayPay」ボーナスを付与。(出所) PayPay(株)

# 「PayPay」オンラインの利用シーンを拡大

2019年 秋

新eコマースサービス開始

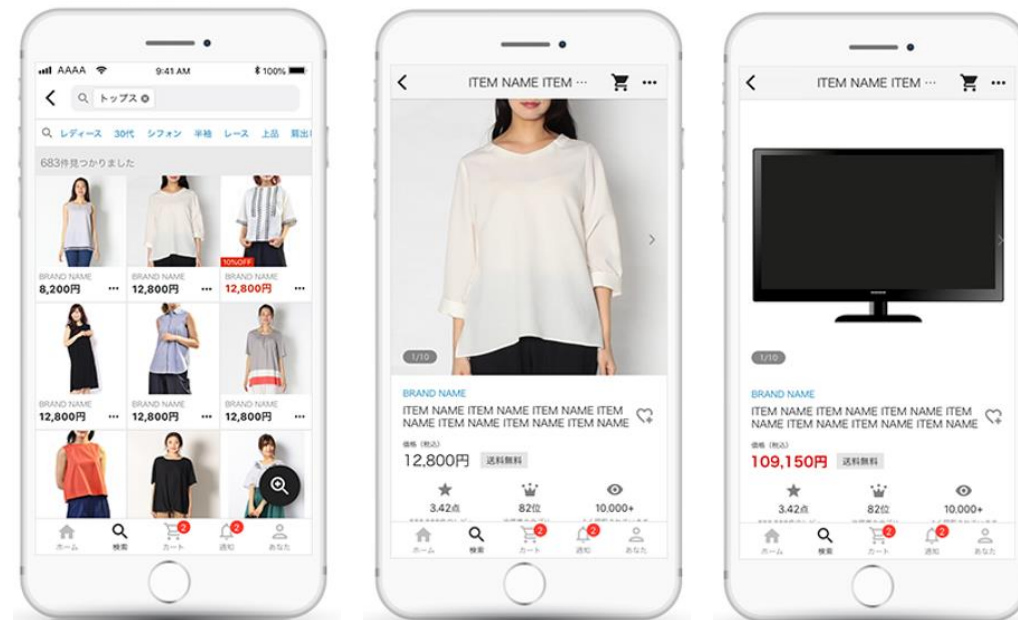
「PayPayモール」「PayPayフリマ」

2019年6月

オンライン決済対応

ヤフオク!

YAHOO! ショッピング  
JAPAN



\* 画像は「PayPayモール」



# 生活のあらゆるシーンでPayPayを利用可能に

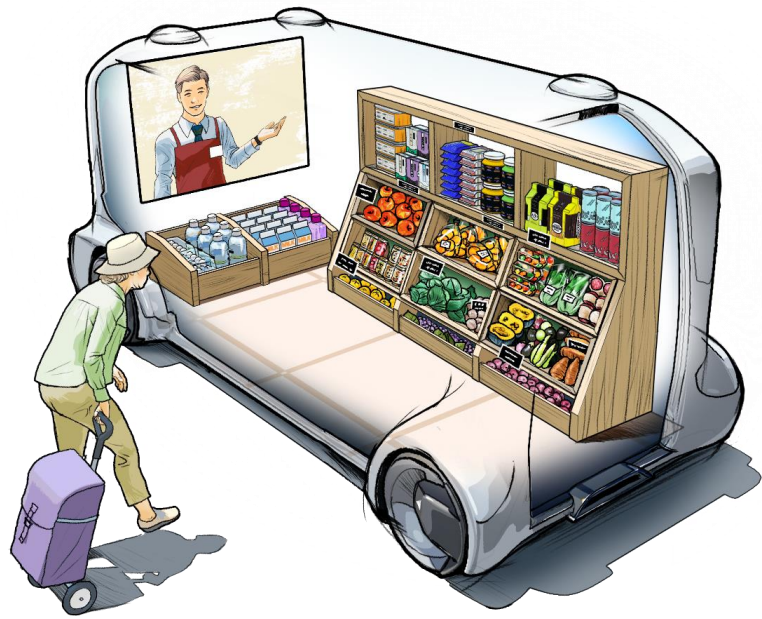




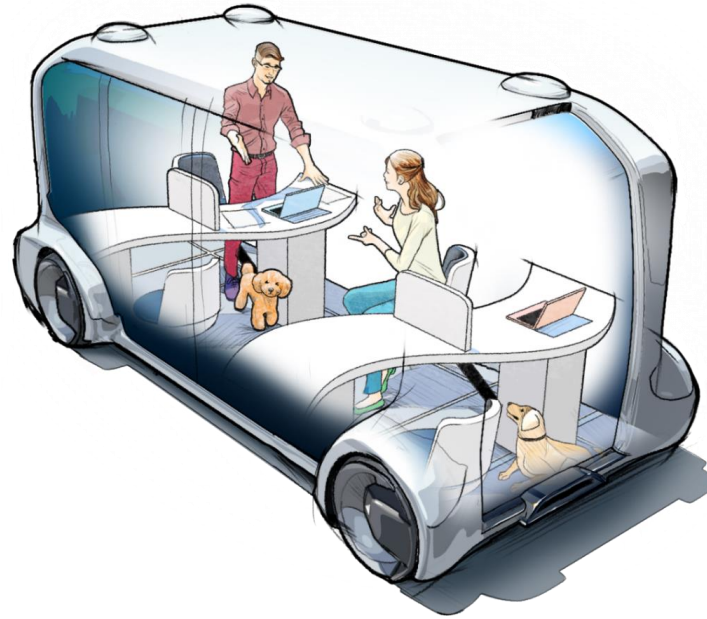


次世代のモビリティ  
イノベーションを推進する  
「MONET」

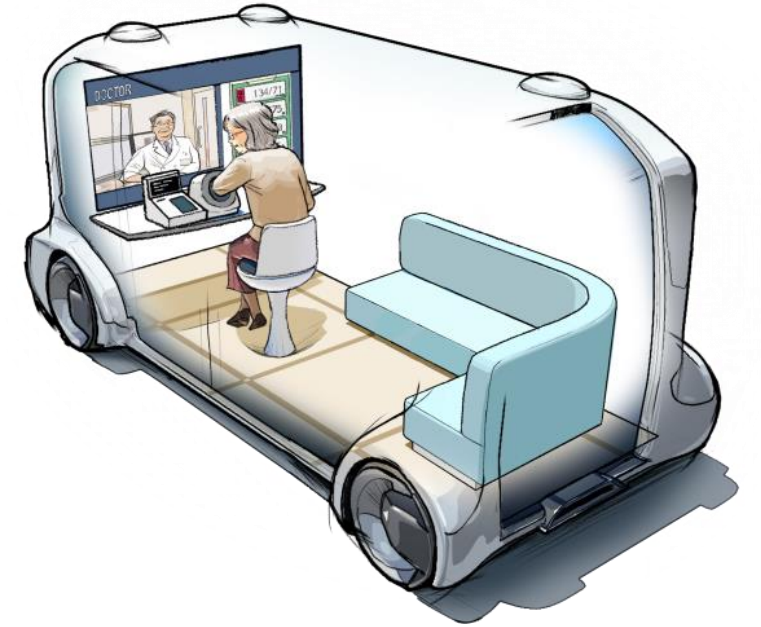
# 究極の移動サービスの実現に向けて



移動コンビニ



移動オフィス



病院シャトル

# 業績

# 2019年度 第1四半期 連結業績

[億円]

	2018年度 Q1 [遡及前]	2018年度 Q1 [遡及後]	2019年度 Q1	増減 (遡及後対比)	増減率 (遡及後対比)
売上高	8,799	11,010	11,649	+639	+6%
営業利益	2,204	2,592	2,689	+97	+4%
純利益	1,550	1,614	1,648	+34	+2%

(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

\* 2018年度実績は、ヤフー(株)を連結子会社化した影響の遡及修正を実施



# 2019年度 予想対比 進捗率

[億円]

進捗率

営業利益  
30%

純利益  
34%

年間予想

8,900

4,800

Q1

2,689

1,648

営業利益

純利益

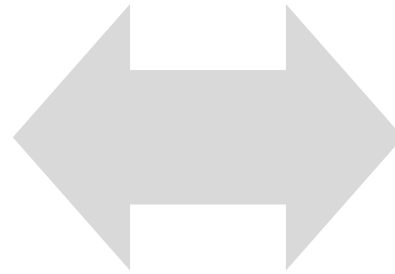
利益は  
計画を上回って  
進捗

(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

\* 年間予想は、2019年5月8日発表

# 株主様への還元

# 成長と株主還元を両立



1株あたり利益 (EPS)

90円 → 100円

FY18

FY19

1株あたり配当 (DPS)

75<sup>\*1</sup>円 → 85円

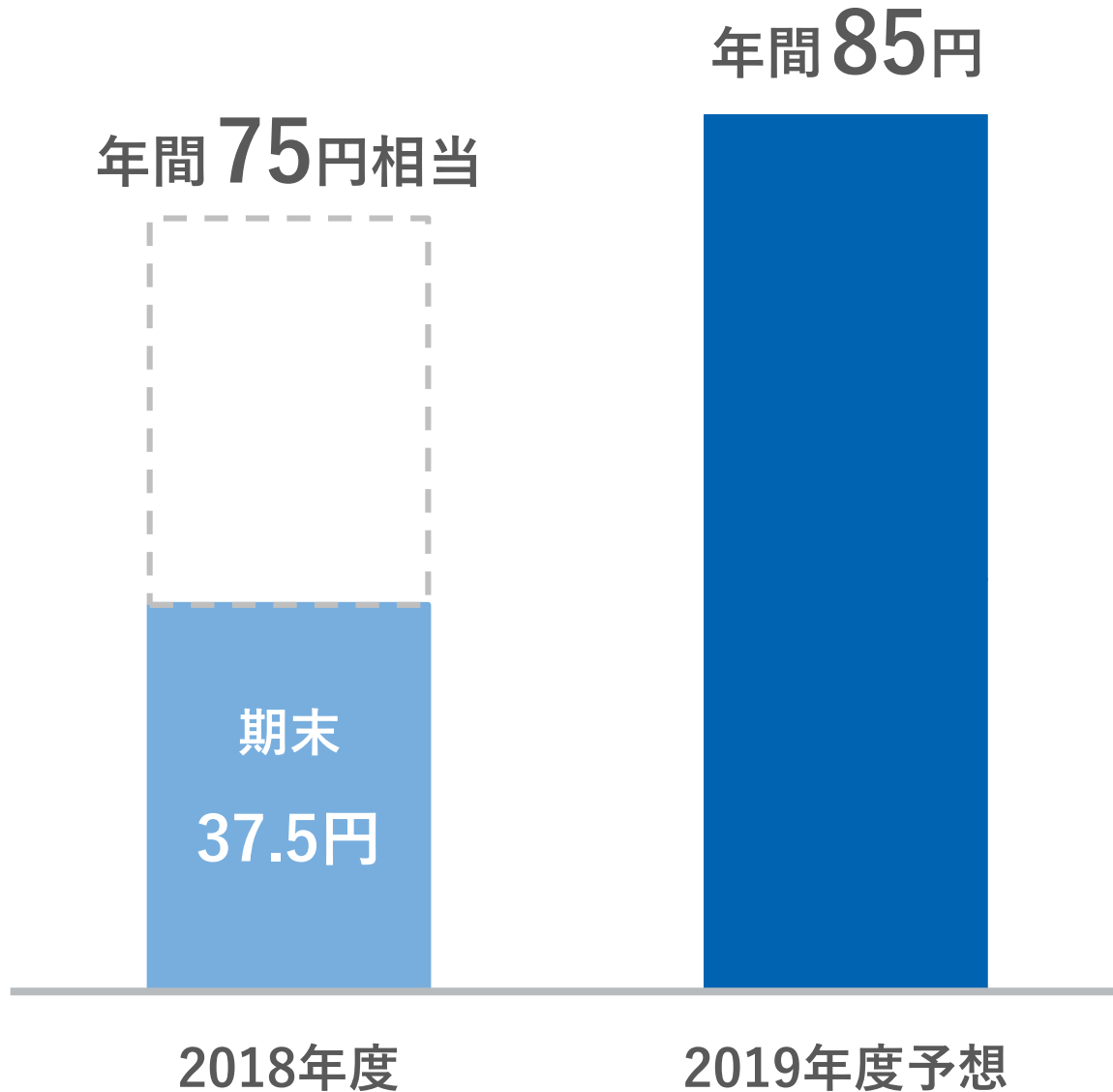
FY18

FY19

\* FY18数値はヤフーを除く。FY19は予想値

\*1: 年間換算

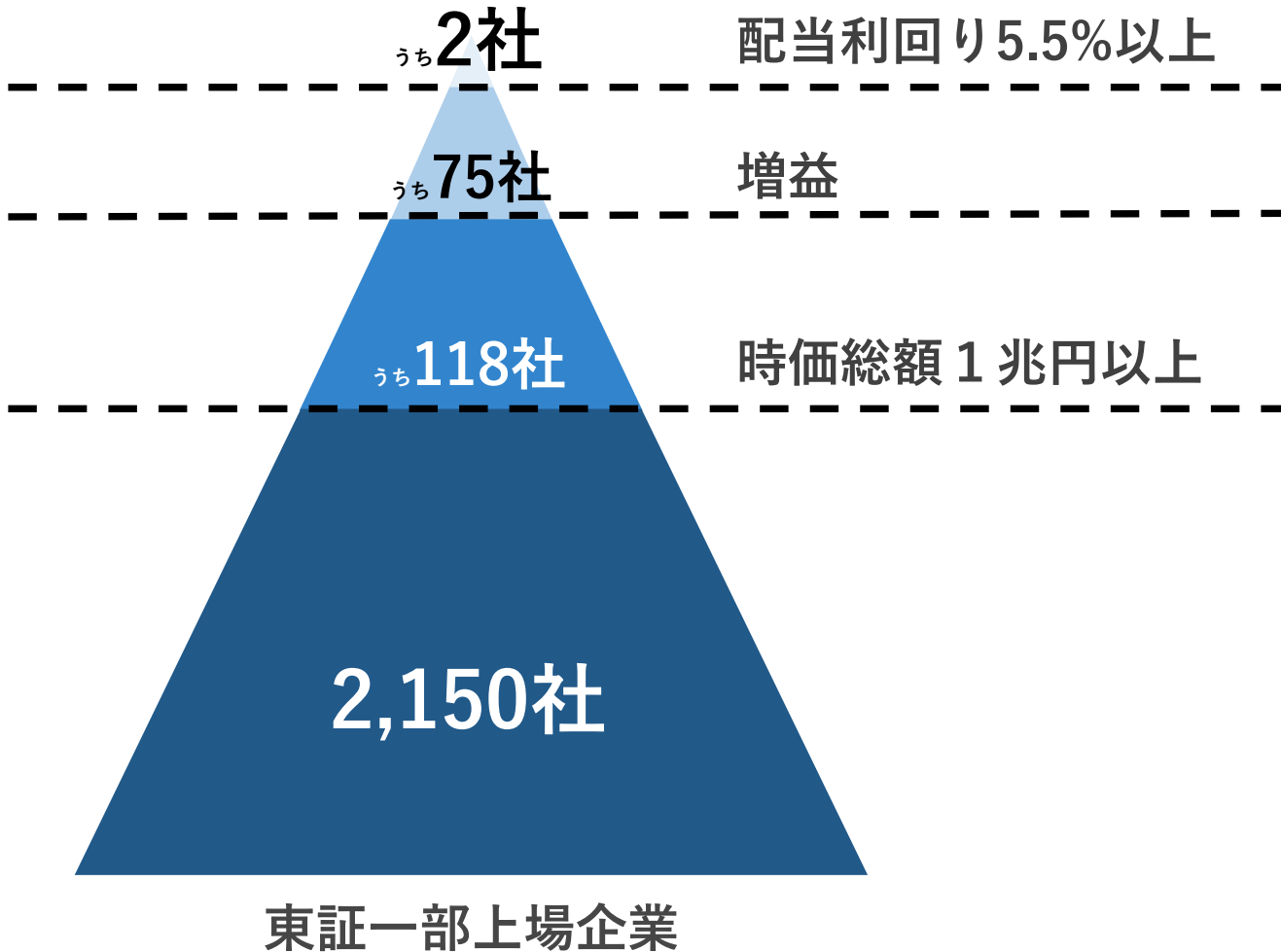
# 一株当たり配当金



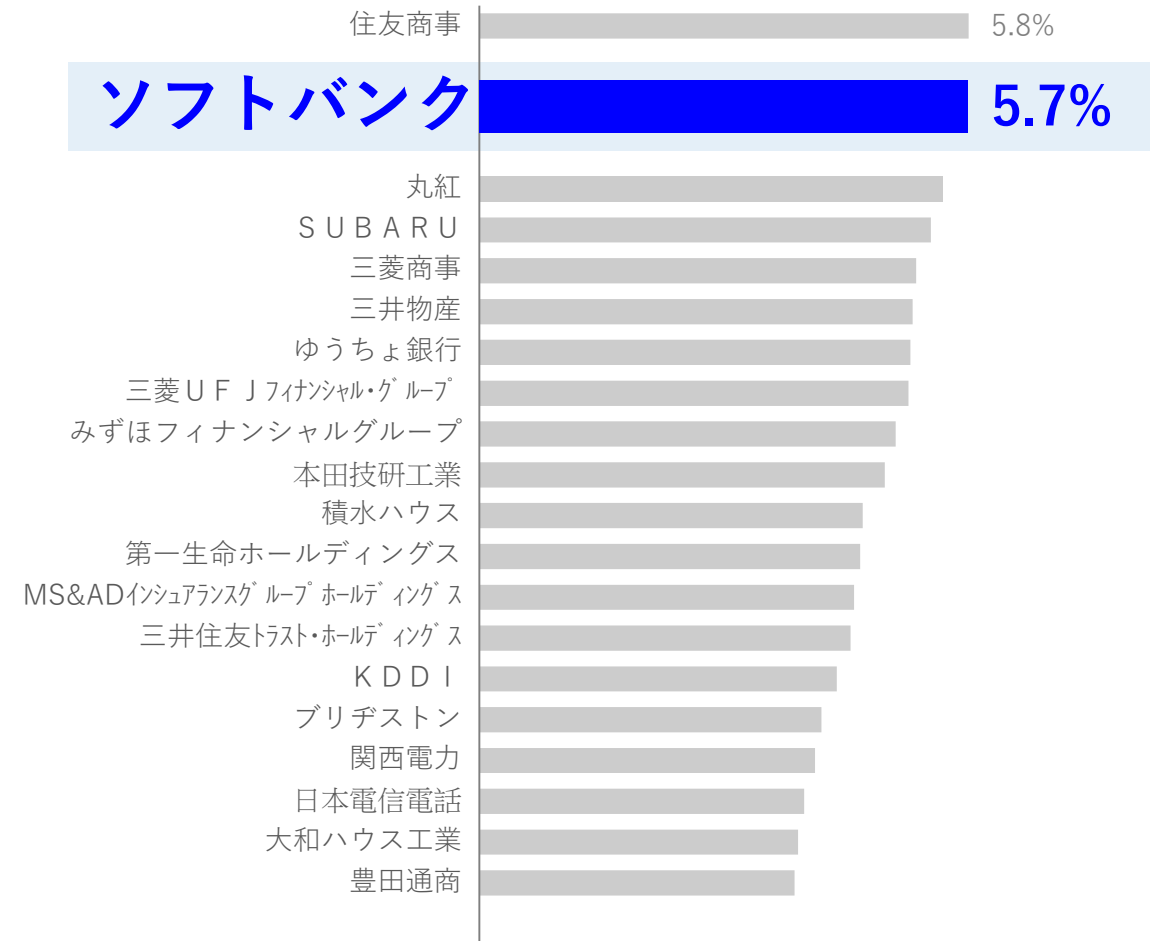
今期予想  
85円

\* 当社は2018年12月19日に上場したため、2018年度は半期分である  
一株当たり37.5円(年間換算 75円)の配当を実施

# 配当利回りの状況



東証一部、時価総額1兆円超、増益企業の  
配当利回り上位20社\*



\* 会社予想期末配当額および2019年8月15日終値に基づく（Bloomberg調べ）。  
増益は発表値の2018年度と2019年度の純利益（予想）に基づく。未発表の会社は含めず。

# ソフトバンクだからこそできるCSRへの取組み

## 高精度センサーによる防災・減災

土砂災害危険箇所に  
センサーを設置



電波を利用した距離測定により  
高精度な斜面のズレ測定が可能

< 誤差数ミリ >\*



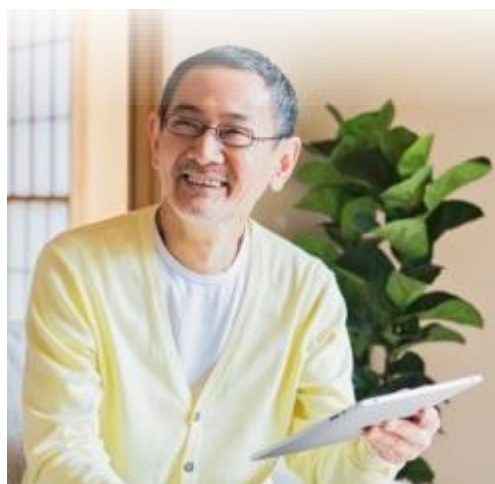
\* 検証結果より





情報革命で人々を幸せに

SoftBank



SoftBank